

アジアを知る

映画『辛口ソースのハンスー丁』から

Knowing Asia through a film *Einmal Hans mit Scharfer Soße*



ドイツの心とトルコの魂を持つキャリアウーマンが家族のため急に結婚せねばならなくなり、婿探しのドタバタ騒動が幕を開ける。ここには移民映画に典型的な社会への反発や悲劇的葛藤の身振りはない。だがそれこそが映画最大の仕掛けなのだ。一見軽快な都会派コメディの装いの中から多様化した社会が直面する小さな対立や摩擦の数々が見事に浮かび上がる。

世代や文化の差をめぐるすれ違いコメディはあらゆる文化圏共通のジャンルといえる。その世界観の豊かさを原作小説との比較も交えつつ読み解いてみたい。

入場無料・事前申込不要(先着順・定員120名)

お問合せ先(東京大学ASNET)
asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp

◆ 日 時: 2017年 7月 30日(日) 14:00-17:00

◆ 会 場: 東京大学 本郷キャンパス内 福武ラーニングシアター

◆ プログラム: 14:00 開会の言葉・趣旨説明

14:10 映画紹介

14:15 映画『辛口ソースのハンスー丁』上映

(ハティジェ・アキュン原作、ブケット・アラクシュ監督, 2013年)

15:45 休憩

16:00 コメント(渋谷哲也氏、東京国際大学)

16:30 質疑応答

17:00 閉会の言葉

主催: 東京大学日本・アジアに関する教育研究ネットワーク+中東映画研究会

共催: 東洋文化研究所、東洋学研究情報センター・セミナー

科研費「イスラーム・ジェンダー学の構築のための基礎的総合的研究」(代表:長沢栄治)